

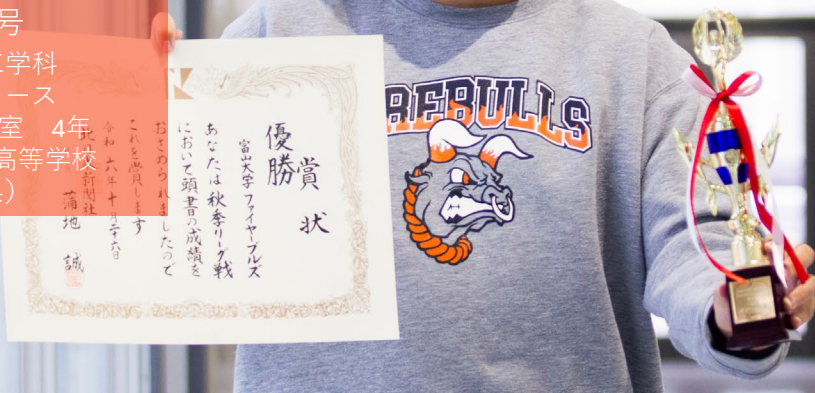
今週の富大生

Weekly TOMIDASEI

第20号

工学部 工学科
機械工学コース

流体工学研究室 4年
富山県立富山高等学校
(富山県)



高校の部活で不完全燃焼

高校ではサッカー部に所属していましたが、コロナもあり、不完全燃焼でした。大学受験を考えたときに、2人いる兄がそれぞれ卓球とアイスホッケーを大学の部活動でやっており、結果を残している姿を見て、「自分も大学生生活を部活で充実させたい」と思っていました。

カレッジスポーツをやってみたい

受験時からカレッジスポーツを何かやりたいと考えていました。野球やサッカーなどのメジャースポーツは幼い頃から続けている人が多く、太刀打ちできない。大学から始める人が多いカレッジスポーツであればスタート地点は同じだと考えました。アメリカンフットボール部、ヨット部、ラクロス部で悩みましたが、アメフト部に入学することにしました。

一時は部員数6名も、勧誘を頑張る

アメフトはオフェンス11人、ディフェンス11人の計22人が必要な競技ですが、僕が1年の頃の4年生の引退後に部員がごっそり減りました。一時は6名になり、練習さえできない時期がありました。2年次の春は必死で新入部員を勧誘し、3年次には主将となり部員もプレイヤー23人、マネージャー6人まで増員しました。

時間とお金をかけて結果にこだわる

主将として、結果にこだわりたいと思いました。週4回の練習に加え、部員みんなでお金を出し合い備品をそろえました。これまではやってみせませんでした。九州や名古屋での練習試合のための遠征も行いました。メンバーには、「時間とお金をかけて一生懸命やってきたんだから、必ず結果を出そう」と言い続けました。

悲願の全日本大学選手権出場を掴む

大学生にとって週4の練習や、備品をそろえるための出費はなかなかキツイものがあるとは思いますが、それでも、「結果を出さないと全部無駄になるよ」と言い続けたことで部員一丸となり、努力を続けました。今期2024年の北陸リーグ戦では、1986年の創部以来、初の優勝を成し遂げることができ、全日本大学選手権への出場権を得ました。



引退後もアメフトと繋がる

高校の時に物理と数学が得意でした。まじめに勉強してきたこともあり、大学入学後に特段苦労するということはありませんでした。研究室は流体工学研究室に所属しており、先生方がアメフト部の活動に理解があったことがうれしかったです。卒研に取り組んでいますが、大学院に進学しても研究を続けたいと思っています。選手としてはこれで引退しますが、大学院からは指導者として関わり続けていく予定です！

これから富大生となる皆さんへ

アメフトはほとんどの学生が、大学で始めるスポーツです。ぜひ富大FIREBULLSへ入部を！
全日を目指して一緒に燃えよう！